

目次

| | |
|-----|----|
| 予兆 | 4 |
| 噴火 | 6 |
| 被害 | 12 |
| 対策 | 18 |
| 絆 | 24 |
| 未来へ | 26 |
| 監修 | 28 |
| 資料編 | 30 |

霧島山は生きている

春は桜、初夏はミヤマキリシマやノカイドウ、秋は色鮮やかな紅葉、そして冬は白銀の世界。霧島山は春、夏、秋、冬の四季折々に自然が織りなす風景を楽しめる場所です。

天孫降臨の神話の舞台としても知られ、1934(昭和9)年3月には、日本で最初の国立公園に指定され、その豊かな自然は私たちに多くの感動を与えてくれます。

2010年7月、NHK大河ドラマ「龍馬伝」のロケが高千穂峰などで行われ、霧島の雄大な自然の魅力が全国に紹介されました。そんな霧島山は、今も生きる「活火山」です。その歴史は永く、30万年以上も前から噴火を繰り返し、現在の秀麗な山になりました。

韓国岳を最高峰とし、高千穂峰や新燃岳など大小20あまりの火山と火口湖が集まった複合火山でもあり、その火山の中の一つ、新燃岳が2011年1月26日、約300年ぶりとなる大規模な噴火を起こし、霧島山の周辺自治体は大きな被害を受けました。

この記録誌は、今回の噴火の状況や対策などを記録として残し、いつ起こるかもしれない霧島山の噴火に備えるための参考になればと発行するものです。

